

12月定例会

平成26年12月町議会定例会は12月17日から19日までの日程で開かれ、次の内容について審議され可決されました。概要は次のとおりです。

1. 補正予算

一般会計

衆議院議員総選挙執行経費のために、平成26年度中山町一般会計補正予算(第4号)で733万円を追加したことについての専決処分が承認されました。

また、平成26年度中山町一般会計補正予算(第5号)について、主に町長選挙費、職員の給与関連経費など、1439万円を追加しました。これらにより、平成26年度の予算規模は49億8509万円となりました。

特別会計

「国民健康保険」「介護保険」「公共下水道事業」の3つの特別会計について補正予算が提案され、いずれも可決されました。

2. 条例の制定等

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

中山町町税条例の一部を改正する条例の制定

中山町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

東南村山地区視聴覚教育協議会の廃止

3. 請願の採択

米の需給安定対策に関する件 ↓採択

農協改革に関する件 ↓採択

一般質問



渡辺 博文 議員

① 学校給食について

問 全国的に学校給食から中国食材を排除しようという動きが見られるが、町の対応等について伺いたい。

① 中国食材はどれ位使用されているのか。

② 中国食材を使用する理由は。

③ 安全確認はどうしているのか。

④ 中国食材排除に対する町の方針は。

答 ① 国内で加工され、原料として使用したものが干しシイタケやタケノコの缶詰など13品目で、平成25年度は食材購入総量の約1・3%に当たる625kgを購入しています。

通ネットワーク計画に基づき、今年度は具体的な見直し案を検討しています。



堀川 政美 議員

① 中山町の介護保険の行く末は

問 平成27年度は介護保険制度の改正や介護保険料の改定が予定されているが、現段階の考え方等について伺いたい。

① 制度改正に伴う、7段階の認定区分(要支援1〜2、要介護1〜5)の考え方や、要支援者(要支援1、2の認定を受けた方)

へのサービスの考え方は。

② 要支援者の家族の介護負担が大きくなる懸念があるが、町の考えと対応は。

③ 要支援者へのサービスを町事業に移行した場合、ボランティアやNPO等の民間団体の効果ある活動が望めるか。

④ 平成27年度からの介護保険料は

どうなるのか。また、今後の給付額の推移をどのようにみているのか。

町議会だより

平成26年12月町議会定例会は12月17日から19日までの日程で開かれ、次の内容について審議され可決されました。概要は次のとおりです。

1. 補正予算

一般会計

衆議院議員総選挙執行経費のために、平成26年度中山町一般会計補正予算(第4号)で733万円を追加したことについての専決処分が承認されました。

また、平成26年度中山町一般会計補正予算(第5号)について、主に町長選挙費、職員の給与関連経費など、1439万円を追加しました。これらにより、平成26年度の予算規模は49億8509万円となりました。

特別会計

「国民健康保険」「介護保険」「公共下水道事業」の3つの特別会計について補正予算が提案され、いずれも可決されました。

2. 条例の制定等

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

中山町町税条例の一部を改正する条例の制定

中山町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

東南村山地区視聴覚教育協議会の廃止

3. 請願の採択

米の需給安定対策に関する件 ↓採択

農協改革に関する件 ↓採択

巻注意情報については、対象地域や有効期限の前提条件等をお知らせ版等で周知を図っていきます。会議等の携帯電話の取扱いについては、主催者や参加者が各々の立場、考え方に基つき判断しているものであり、行政が指導するものではないと考えます。

③ 学生議会や子ども議会等を開催してみてもいいか?

問 学生議会や子ども議会は若年層目線からの意見や鋭い質問もあり、行政の執行部や議会議員にとっても勉強の場になり、町民の生の声を聴く場にもなると思うが、開催を検討する考えはないか。

答 町では平成14年度から17年度まで「中山町ひまわり議会」として、中学生による模擬議会を開催しましたが、それ以降は関係者との協議等により開催しておりません。町民の生の声を聴く制度としては、町政座談会「町長と語る会」や区長懇談会、地区要望会、ひまわり直行便、町公式ホームページへの投稿等があるため、現時点では町が主催して開催する考えはありません。

④ 町営バスの運行関連について

問 6月定例会において、町営バスの安全性(バス停の位置・運行方法)や問題点を質問したが、その後の対応等について伺いたい。6月の質問前に、危険性を指摘したバス停で人身事故が起きていたことも、その後報告されている。

① 前回の質問で15か所のバス停の危険性を指摘したが、その後の対応は。

② 安全性を確保するため、運行方法を変更した部分はあるか。

答 ① 全部のバス停について検討し、改善を図る必要のある2か所のバス停を移動しました。事故の起きたバス停は総合的に勘案した結果、従前のままとしています。運行業務の受託事業者に対し、交通安全の一層の徹底を指導しています。

② 狭隘道路を避ける運行経路の見直しや、住民から要望のあったバス停新設、時間的余裕を持たせた運行ダイヤの一部見直しなどを実施しました。

また、昨年度策定した生活交

問 現在、配信されている防災メール等については、内容を厳選したり、警戒解除配信のない巻注意情報の警戒時間を周知することなどはできないか。

また、会議等における携帯電話の取扱いが統一されていないが、電源を切つては意味がなくなることから、周知徹底すべきではないか。

答 配信情報は現在も厳選していると考えていますが、竜